

もしものときに備えて、防災意識の向上を

全町一斉防災訓練



車いすの避難誘導方法を確認

町では、鳥取県西部地震の教訓を生かし、一人一人の防災意識の高揚を図るため、10月1日、全町一斉防災訓練を行いました。

今回は、日野町を震源とする震度6強の地震が発生したと想定。防災行政無線を使い、町民に仮避難場所へ避難するよう呼びかけました。

また、町指定避難所の一つである日野町公民館および日野町老人福祉センターで、黒坂地区自主防災委員会、日野町社会福祉協議会との避難所開設合同訓練を実施。各自治会長と防災係長を中心に、避難誘導訓練や、防災物資の確認作業などを行いました。

いつまでもお元気で。長寿のお祝い

敬老記念品の贈呈



満100歳を迎えた植木さん(左)と木山さん(右)

町内の高齢者の長寿をお祝いしようとして、9月15日、埴田町長が高齢者宅を訪問し、記念品を手渡しました。

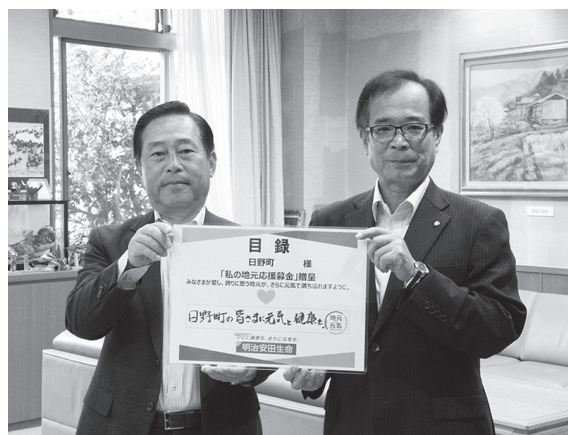
今回対象となったのは、満88歳を迎えた45人と、満100歳を迎えた2人の計47人です。

そのうち、満100歳を迎えた木山秀子さんと、植木正枝さんには、内閣総理大臣から祝状と銀杯が、町から記念品が贈られました。

埴田町長は「これからもお元気で過ごしてください」とメッセージを送り、長寿を祝いました。

健康・暮らしに役立てて

明治安田生命保険相互会社「私の地元応援基金」目録贈呈式



目録を手にする八矢支社長(左)と埴田町長(右)

9月25日、明治安田生命保険相互会社鳥取支社(八矢一城支社長)が町を訪れ、「私の地元応援基金」の寄付とともに、目録贈呈式が行われました。

これは、より豊かな地域社会づくりに貢献することを目指す「地域の元気プロジェクト」の一環として、明治安田生命グループの従業員の皆さんが出身地などゆかりのある地域に募金し、会社からの寄付を上乗せして寄付を実施しているものです。

いただいた寄付は、健康増進や子育て支援など、地域社会の活性化などに活用する予定です。

生き物を通して、楽しく自然に触れる

黒坂フェスタ「生き物と遊ぼう!」出前かにつこ館もやってくる!



サメに興味津々で触れ合う子どもたち

9月24日、黒坂フェスタ「生き物と遊ぼう!」出前かにつこ館もやってくる!」が旧黒坂小学校にて開催されました。

当日は、出前かにつこ館がサメやカニなどの生き物とのふれあいコーナーを開催。二ホンミツバチ教室では、はちみつ絞り体験などミツバチに関することを学び、コケリウム教室では、実際にコケリウムを作るなど、「自然」に触れて楽しめるワークショップが多く企画されていました。

参加者は、普段出会えない生き物とのふれあいを楽しんでいました。



地元有志の皆さんと一緒に歌を披露

9月24日、「I Love ひのPARTII〜トリオでオーケストラバンド〜」
 RTII〜トリオでオーケストラバンド〜」が、町文化センターで開かれました。
 渡辺朋子さんのピアノと大本りかさんのエレクトーンとの演奏に合わせ、ソプラノ歌手の小椋美香子さんの美しい歌声が、会場中に響き渡りました。
 また、地元有志の児童たちが演奏に合わせ演劇をしたり、舛谷天さんのボーカル、村上さくらさんによるバレエなど、多くのゲストが登場するにぎやかなコンサートとなりました。

エレクトーンとピアノの競演

「I Love ひのPARTII〜トリオでオーケストラバンド〜」

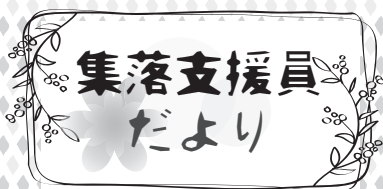


立派に育った稲をお互い協力し手際よく収穫

9月19日、日野高校黒坂施設で、日野学園と日野高校の稲刈り交流が行われました。
 当日は、日野学園の5年生と日野高校アグリライフ系列の2年生が参加。一緒に体験し交流することで、お互い学び合い、成長することを目的としています。
 また、今年、星空舞5周年を記念し、星形に苗を植え育てる「星形田んぼ」作り（鳥取県主催）に挑戦。綺麗な星の形に植えた稲を、お互い協力しながら、真剣な表情で刈り取っていました。

黄金色の星刈られ、田に交流の跡残る

日野学園生と日野高校生が稲刈り交流



集落支援員 だより

SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明

担当地区：菅福



8月30日、島根県邑南町川角集落まで「花桃の実」を拾いに行ってきました。

一本の木に紅白の花が咲く花桃は「源平桃」と呼ばれるそうですが、白い旗印の源氏と赤い旗印の平家が争った源平合戦に由来があるようです。平家が滅亡した壇ノ浦の合戦があった季節に満開を迎えます。華やかさの向こうにわびしさを感じさせる花ですね。

4月の視察旅行の際にお世話になった「てごうする会」会長の小田さんの案内で、一般的な赤い花が咲く花桃の実と、源平桃の実を100個ほどいただいできました。発芽率は3割ほどだそうです。

冬を越して芽を出して、花が咲くのは3年後です。楽しみに待ちましょう。



もち 鈴原糯の種子生産水田で稲刈り



町特産の希少なもち米・鈴原糯の稲刈りが、9月28日、町内の種子生産水田で行われました。

今回の栽培は、昨年度に引き続き、遺伝的に純粋な鈴原糯の種子を維持することを目的に行われました。良好な特徴をもった株を選ぶため、5月8日の田植えに続き、稲刈りも手作業で行われました。将来長きにわたって鈴原糯の生産が続けられるよう、関係者による取り組みが進められています。